

養 氣 軒

ようきけん

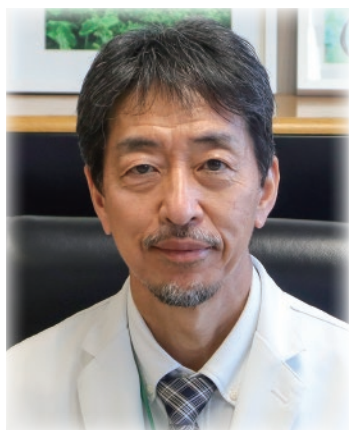


Nagasaki Kawatana
Medical Center

80th
Anniversary
《80周年記念号》

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



長崎川棚医療センター 創立80周年に寄せて



当院は昨年、国立病院としての創立から数えて80周年という大きな節目を迎えることが出来ました。

昭和19年（1944年）に川棚海軍病院として開設された当院は、昭和20年（1945年）の終戦後に「国立川棚病院」となりました。その後、「国立療養所川棚病院」「長崎神経医療センター」への病院名変更を経て、平成21年（2009年）より「独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター」となり現在に至っております。

80年という長きにわたり地域医療を担い続けてこられたのは、ひとえに当院を信頼し受診して下さった患者さま、ご家族の皆さま、地域の皆さまのおかげであり、そして時代ごとの困難な状況に向き合いながら医療を支えてきた職員一人ひとりの努力の賜物でもありと考えます。心より感謝申し上げます。当院の80年の歩みは、決して順風満帆なものではなかったと思います。

戦後の混乱期、高度経済成長期、医療制度改革の波など、その時代ごとに医療の在り方は大きく変化してきました。そして近年、私たちは新型コロナウイルス感染症という、未曾有の困難にも直面しました。感染拡大の中で、医療現場は常に緊張と不安にさらされました。限られた人員と資源の中で、通常診療と感染対応を両立させることは容易ではなく、職員の心身への負担も決して小さなものではありませんでした。

新型コロナウイルス感染症は何とか収束を迎えつつあるようですが、物価高騰、人件費の増加などにより、病院経営の面でも厳しい判断を迫られる場面は続いております。「医療を守ること」と「経営を維持すること」の両立は、決して簡単なものではありません。

それでも当院が歩みを止めずにこられたのは、「この地域にこの病院が必要だ」という思いを、職員全員が共有してきたからに違いありません。厳しい状況の中でも、患者さま一人ひとりに向き合い、互いに支えあいながら医療を提供し続けてきた現場の力には、院長として心からの敬意を表したいと思います。医療を取り巻く環境は、今後も楽になることはないでしょう。人口減少、超高齢化社会、医療の高度化、働き方改革など、課題は山積しています。しかし、変化の時代だからこそ、当院が大切にしてきた「地域に寄り添う医療」の価値は、より一層高まると考えています。

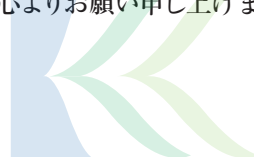
80周年はゴールではなく、未来へ続く新たなスタートととらえています。次の10年、20年に向けて、職員が誇りをもって働ける病院であり続け、地域の皆さまに安心を届けられる病院であるために、挑戦を続けてまいります。

今後とも、当院への変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年3月

長崎川棚医療センター院長

植木 俊仁



Nagasaki Kawatana
Medical Center





放射線科



薬剤部



栄養管理室



臨床検査科



リハビリテーション科



医療機器管理室



事務部企画課



事務部管理課



医事・外来窓口



総合情報管理室



診療録管理室



手術室



外来



地域医療連携室



3階病棟

みんなで迎えた80周年だよ!



6階病棟



看護師長会



4階病棟



8病棟



療育指導室

編集後記

記念号の発行にあたり、長崎川棚医療センターが戦後と共に歩んできた80年の歴史を感じることができました。地域の皆さまに支えられ、積み重ねられてきた年月の重みを改めて感じています。社会や医療を取り巻く状況が変化し続

ける中でも、私たちはこの地で変わらず、誰もが安心して暮らせるよう貢献してまいります。これからも地域の皆さまと共に、信頼される医療機関であり続けたいと思います。



診療部門



統括管理者



看護部長室



コロナ禍に
“ゆたかカレッジ長崎
キャンパス”の皆さん
に頂いた
応援横断幕です。



昭和

S55年 (1980) 結核病棟50床を 小児慢性病棟に変更	S54年 (1979) 外来管理治療棟竣工	S50年 (1975) 「神経内科」を標榜 (全国で初めての診療科) 神経難病の治療と 研究を開始	S47年 (1972) 進行性筋萎縮症病棟 開棟(80床)	S45年 (1970) 救急告示病院の指定 (長崎県正弘408号)	S28年 (1953) 旧厚生省組織規程の一部改正 国立療養所川棚病院となる	S20年 (1945) 旧厚生省に移管 国立川棚病院となる	S19年 (1944) 川棚海軍病院として開設 第二次世界大戦終戦
病床数 (398床)	病床数 (318床)	病床数 (190床)					
5代目 松尾 宗祐 院長 昭和57(1982)年4月1日~ 昭和60(1985)年3月6日	4代目 中澤 良夫 院長 昭和28(1953)年9月23日~ 昭和57(1982)年3月31日	3代目 井上 高雄 院長 昭和24(1949)年2月21日~ 昭和28(1953)年9月22日	2代目 篠崎 哲四郎 院長 昭和22(1947)年10月11日~ 昭和24(1949)年2月20日	初代 小林 満男 院長 昭和20(1945)年12月1日~ 昭和22(1947)年10月10日			

独立行政法人国立病院機構
長崎川棚医療センターの80年の歩み

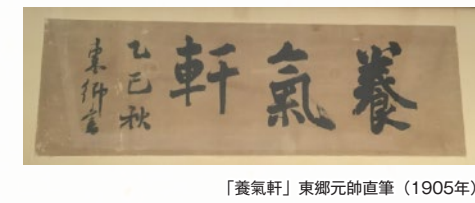


平成

H30年 (2018) 入院支援センター開設	H29年 (2017) 新病棟(6階建)竣工	H27年 (2015) 筋ジス8病棟 7対1看護へ変更	H27年 (2015) 創立70周年 訪問看護ステーション 「KAWATANA」開設	H25年 (2013) 長崎県初期被ばく 医療機関の指定	H24年 (2012) 九州国際重粒子線 がん治療センターとの 医療機能連携協定	H21年 (2009) 脳卒中ホットライン運用 開始(2020年まで)	H21年 (2009) 長崎川棚医療センター (西九州脳神経センター) に名称変更	H20年 (2008) DPC(診断群分類 包括評価)の運用開始	H19年 (2007) 協力型臨床研修病院の指定	H18年 (2006) 地域医療連携センターの設置 結核病棟20床から5床へ縮小 脳神経外科の新設	H17年 (2005) 創立60周年	H16年 (2004) 独立行政法人国立病院機構 長崎神経医療センターに名称変更 (全国で60番目、機構で4番目) 結核病棟のユニット化(20床)	H14年 (2002) 臨牀研究部の開設 (1部5室)	H10年 (1998) 神経難病総合支援 ネットワークを構築	H3年 (1991) 総合情報病院システム稼働	
病床数 (285床)											病床数 (315床)	病床数 (330床)				
											7代目 宮下 光世 院長 平成19(2007)年4月1日~ 平成31(2024)年3月31日	6代目 澁谷 統壽 院長 昭和60(1985)年8月1日~ 平成19(2007)年3月31日				

【基本理念】

「さわやかな笑顔と思いやりの心で安心、安全な満足のいく医療を目指します。」
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。



【運営の基本方針】

1. 養気軒の精神で、全人的医療を行う。
2. 質の高い、安心、安全な医療を提供し、地域の皆さんからの信頼を得る。
3. 『地域との連携』、『病院職員間の融和』のもとに、医療連携、チーム医療を推進する。
4. 職員にとって働きやすい職場環境を整備する。
5. 健全な経営のため努力する。

令和

R7年 (2025) 創立80周年 新病棟との接続廊下を新設 病院入り口交差点拡張工事 土地売却(国交省・川棚町) エネルギー棟防水扉改修工事 老朽化対策整備工事始まる (受電設備・空調設備・医療カス)	R6年 (2024) 病院(公式)インスタグラム開設 医療措置協定の締結 (長崎県)感染症5床	R5年 (2023) 訪問看護ステーション (KAWATANA)経営移管 病院機能評価Ver.3.0認定 公開講座の再開 外来管理棟1階廊下・トイレ 内装改修工事	R4年 (2022) 5階病棟 閉鎖 6階病棟 急性期を 障害者病棟へ変更 4階病棟改修 5床増床(60床)	R3年 (2021) 外来管理棟老朽給水管更新工事	R2年 (2020) 新型コロナ感染者対応 接触者外来の設置 患者受入協力医療機関 診療・検査医療機関 検温実施中	R元年 (2019) 電子カルテの更新(2回目)
			病床数 (240床)			
9代目 植木 俊仁 院長 令和6(2024)年4月1日~					8代目 藤岡 ひかる 院長 平成31(2019)年4月1日~ 令和6(2024)年3月31日	



【病院概況】

稼働病床数	急性期一般病棟(3階病棟)	60床	
	障害者病棟(6階病棟・8病棟)	115床	
	地域包括ケア病棟(4階病棟)	60床	
	合計	235床	
患者数	外來患者数	入院患者数	
	令和6(2024)年	111.8人	207.4人
	令和5(2023)年	111.4人	201.7人
	令和4(2022)年	118.9人	204.9人

職員数 (R7.4.1)	常勤	非常勤	
	医師	17名	-
	看護師	153名	8名
	その他	82名	46名
	合計	252名	54名

